



オーストラリア直送レポート

Vol.6

2016.8.12 2日ぶりのDS校での授業。新しくできた友達！【DS】

オーストラリアの生活にもずいぶん慣れてきました【PS】

- ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課：林
(引率教諭) 吉備中学校：西岡
- パーマストーン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課：宮地
(引率教諭) 白馬中学校：熊ノ郷

【DS】2日続いた校外研修も無事に終わり、今日はDS校での研修です。研修生たちはホストファミリーと一緒に、元気よく登校してきました。登校して来て、今までは授業が始まるまではDS校が用意してくれた部屋で過ごす事が多かったのですが、部屋を飛び出して、ホストファミリーはもちろん、ホストファミリー以外の生徒とも会話をしたり写真を撮っている姿がありました。

今日の授業は、柔道、ダンス、美術、インドネシア語、調理実習、日本語、体育の授業でした。ダンスの授業では、いくつかのグループに分かれた自分たちで創作ダンスを即興で披露するものでした。研修生は、ジェスチャーや片言の英語でコミュニケーションをとりながら、全員素晴らしいダンスを披露していました。このような教育プログラムが、生徒の創造力や自主性を育てているのだと感じました。日本語の授業は、研修生とDS校の生徒がグループになり、研修生は英語で質問したり答えたり、DS校の生徒はその逆でお互いの言語や文化を学ぶ内容でした。授業の内容が少し難しので心配をしたのですが、授業の様子を見ていてびっくり！！なんと研修生たちは、DS校の生徒が話した内容のほとんどを理解していました！研修生の耳は、日に日にたくましく成長しているようです。そのこともあったので、午後からのDS校の生徒との調理実習も安心して見守ることができました。夕方からは、ホストファミリーとDS校の先生方とイーストポイントで食事会をしました。その時に、研修生のお世話になっているホストファミリーの方々とお話をさせていただきましたが、気さくで、とても親切な方ばかりでした。研修生のことを本当の子どものように心配し、見守ってくださっていました。

さて、当研修は早くも全日程の半分が経過しようとしています。来週は、月曜・火曜の2日間は再び校外研修に、ダーウィン市内にある施設を巡ります。そのため、DS校の友達と顔を合わせる機会が減ってしまいます。刻一刻と過ぎていくオーストラリアでの生活。研修生は何を得て、また何を残せるのか。来週の研修生のさらなる飛躍に期待したいと思いません。

また、研修生達は週末ホストファミリーと楽しい思い出を作ることでしょう。週明けに研

修生達が笑顔で週末の土産話をしてくれる事を楽しみにしています。(林)

暑い日が続いており、今日も猛暑の中、研修生がドリップストーン校に登校してきました。今日は校内研修で、いつものように2グループに分かれて5時間授業(インドネシア語、日本語、美術、体育、柔道、家庭)を受けました。インドネシア語の授業では何を言っているのかチンプンカンプンになりながらも、インドネシア語の数字をビンゴゲームを通して学習しました。日本語の授業では、私も授業のお手伝いをさせていただき、ドリップストーン校の生徒の漢字の名前を考えたり、日本語・英語の早口言葉を練習しました。また授業の最後には折り紙の折り方を学習し、研修生はドリップストーン校の生徒に教えてあげていました。事前研修で予習していたので、みんな上手に教えることができていました。家庭の時間では、ピザ作りに挑戦しました。ドリップストーン校の生徒2人と研修生2人、4人一組で行動したので、交流しながら協力しあって作る姿が見受けられました。そして最後には美味しいピザが完成しました。

学校が終わった後は、イーストポイントというダーウィン市内の海辺で、研修生、ホストファミリー、ドリップストーンの先生方と食事会をしました。ホストファミリーにホストを引き受けてくれた感謝の気持ちを伝え、普段の家での様子を聞いてみると、すべてのホストファミリーが polite (礼儀正しい)、kind (優しい) など、研修生での家での行動を褒めてくださいました。体調面にも配慮してくださっており、安心したとともに、とても嬉しく思いました。研修生は、ドリップストーン校の生徒が日本に来た時に恩を返してほしいなあと思います。

今日の研修では、ホストファミリー以外にも友達を作っていたことに驚かされました。いつもはホストファミリーと交流することが多いのですが、今日は他の生徒ともたくさん交流できていたと思います。なかには、来週昼食を一緒に食べる約束をしていた研修生もいました。とても意欲的で、素晴らしいことだと思います。

1週目が終わりました。来週で帰国となります。あと1週間、全力で研修生を見守っていきたいと思います。吉備中生、Time flies fast, do your best! (西岡)

【PS】今日はローズベリーミドルスクールへの登校の日です。集合し、ミドルスクールに併設するローズベリープライマリースクールへお邪魔しました。幼稚園から小学6年生までの子ども達が集会をしていました。現地の子供達はめずらしい日本人に興味深々という感じで研修生達の自己紹介にくぎ付けでした。自己紹介はもう慣れっこで完璧でした。小学校の先生の中に、過去に日本のインターナショナルスクールで働いていたことがあるという方がいました。日本の小学校は、色々な科目を勉強するが、オーストラリアでは生活について学ぶような授業が多いというお話を聞かせていただきました。日本は小学生に勉強させすぎだと…。文化の違いをここでも感じました。いずれにせよ、大きな声であいさつをしてくれたこの子ども達が、いつか有田川町を訪れてくれることを楽しみにしています。

ミドルスクールに戻って、まず、体育の授業に参加させてもらいました。日本ではなじみのないオーストラリアンフットボールを教えてもらいました。日本の学校では見ることがで

きないほどの広い芝生のグラウンド、澄み切った青空、爽やかな風と、まさにオーストラリアという状況の中、思いっきり体を動かしました。現地の生徒達に指導してもらいながら、不慣れなボールを蹴ったり追いかけたりと、研修生達は生き生きとしていました。リセス(午前中の長い休憩)では、たくさんのスナックを食べながら、現地の生徒達に学校で流行っていることなどをインタビューするという課題をこなしていました。ただ、現地の生徒達と仲良くなったことでテキパキ行動するという意識がうすれてきたように思いました。その後のダンスの授業では、現地の生徒達のリズム感や表現力を目の当たりにし、恥ずかしさが出てしまい、なかなか授業に馴染めなさそうでした。それでも、最後はグループ別で練習し、一つのダンスを完成させました。

午後はオリエンテーリングという授業で、コンパスを使って指示通りに動くというものでした。日本では必要ないように思いますが、森などが多いオーストラリアでは有意義なものだろうと思います。非常に暑い中、グラウンドで活動していました。暑かった屋外での授業のあとに、室内でアイスクリームを作る実験の授業をしました。理科の授業かと思いますが、氷と塩を使ってアイスを作りました。現地の生徒達に、アドバイスしてもらいながらつくったアイスをみんなおいしそうに頬張っていました。一日を通して感じたのですが、慣れることと学ぶことを区別してもらいたいと思いました。日本人のいいところは変えずに、現地の生徒達から、積極的なところやフレンドリーなところなどのいいところを真似て、自分の成長につなげてもらいたいです。(宮地)

朝、ローズベリー校の先生に「ここの生活を楽しんでいますか？」と聞かれた一人の男子がすぐに「Yes」と答えました。何と聞かれたかわかる？と聞くと、ちゃんと意味がわかっていました。確実に英語のリスニング力は伸びています。

この一週間、子供達は真面目に授業に参加し、大きな事故や怪我もなく、何の問題もありませんでした。それは、外国で過ごす上でとても大切なことです。しかし、彼らの見ている世界はとても小さくて、見えないところで自分が「してもらっていること」にまだあまり気がついていないように思います。または、気がついていても、次の行動につながっていないのかもしれませんが。子供達は、きっと心の中ではホストファミリーや現地校の先生や生徒達に感謝しているのかもしれませんが。でも、それを何かの形で表現しなければ、相手には伝わりません。今日、子供達に「この週末に、ホストファミリーに対して自分達ができることをすること」という宿題を出しました。何をするかは重要ではありません。何をしたら相手はうれしいのか、それを考えることが大切だと思っています。

この研修も折り返し地点にきました。月曜日、いろんな体験をした彼らに会えることを楽しみにしています。(熊ノ郷)

(写真を次ページに掲載しています)

